

公約の取り組み状況をお知らせします

現在、町長の公約である「まちづくりビジョン」をもとに、町民の皆さまの意見を取り入れながら、住みよいまちづくりを進めております。

公約の取組状況の一部をお知らせします。



ビジョン1：公共交通弱者対策

- 持続可能な公共交通ネットワークの実現のため、町の基幹的交通である大利根交通バスの維持を最優先に再編を検討中**
→町民の町内外への移動を支えるため、福祉バスと大利根交通バスを早尾台の団地中央へ接続し、取手方面へのアクセスがスムーズになるように検討しています。
- 福祉バス「福ちゃん号」の停留所を日本ウェルネススポーツ大学に設置**
→日本ウェルネススポーツ大学のご協力と福祉バスのルート変更により、大学のスクールバスを乗り継いで、布佐駅まで行くことができるようになりました。
また、乗り継ぎの待ち時間を短くするため、福祉バスの時刻表を改正しました。



ビジョン2：職員の人材育成計画及び国・県との人事交流

- 課長職昇任試験を導入**
→昨年度に昇任試験を実施し、今年度、初めて昇任試験の合格者を課長として任用しました。
- 町職員の派遣および外部からの職員受け入れ**
→茨城県土木部竜ヶ崎工事事務所および後期高齢者医療広域連合へ職員を1名ずつ派遣したほか、今年度から新たに茨城県総務部市町村課へも1名派遣しました。
また、龍ヶ崎塵芥処理組合から職員を1名受け入れました。



ビジョン3：企業誘致と雇用創出

- 町有地を中心に事業者へ情報提供**
→複数の事業者へ、町有地など誘致の可能性のある土地などの情報を提供し、利活用の相談を行いました。



ビジョン4：防犯・防災対策

- 防犯カメラおよび蓋付き側溝の設置**
→今年度中に、町内の主要道路の交差点付近に防犯カメラを5台増設予定です。
設置箇所は取手警察署と協議して決定し、工事契約締結は9月を目標としています。
また、蓋付き側溝設置のスピードアップを図っています。



ビジョン5：安心して子育てできる教育

- 来年度、新規ALTの任用を検討中**
→児童生徒が英語で会話する機会を増やすため、現在任用している3名以外に、さらに1名または2名のALTを任用することを検討しています。

ビジョン6：スポーツ・健康・動物愛護・福祉が続く未来創り



- モルック体験会を開催予定**
→フィンランド発祥のスポーツ「モルック」の体験会を開催し、競技の普及と健康増進を図ります。
- 動物愛護と適正飼育を推進**
→地域住民や動物愛護団体との協働により、人と動物が共生する町を目指すため、動物愛護協会を設立しました。
- フレイル予防を実施**
→高齢者への健康診査の受診勧奨、生活習慣病の重症化予防などを目的とした個別相談会、電話相談や訪問などによる保健指導などを行っているほか、生活機能の維持・向上を目的とした介護予防のための教室や、ボランティアが主体となり町と共同で実施している介護予防体操を推進しています。
また、介護予防活動を行う「住民通いの場」事業に対する活動費の交付、認知症カフェに対する補助金の新設を行いました。
- 子育て活動団体への支援**
→ボランティアで子育て活動を実施している団体への補助を行っています。



ビジョン7：豊かな資産を残すまちづくり

- 町の貴重な文化を維持・継承**
→文化財保護団体の代表者および管理者と、現在抱えている問題点や要望などについての意見交換を行いました。
また、伝統ある地域の祭りの保存や、観光資源の保全のため、町内行事などの支援として、町観光協会から各団体へ補助金を支出しています。
- 町の魅力を外部に積極的に発信**
→県や周辺自治体で開催される各種イベントなどに出席し、町のPR活動を行っています。

その他の重要施策：外国人住民との多文化共生



- 外国人留学生への直接指導**
→留学生への生活指導講習会や通学時間帯での立哨を行い、自転車の交通ルール、公園などの公共施設の適正利用、ゴミの出し方ルールなどを指導しました。
- 役場窓口への通訳支援スタッフ配置**
→日本ウェルネススポーツ大学と協定を締結し、通訳支援スタッフを無償で派遣していただくことで、外国人住民の各種手続きの円滑化を図っています。
- 多文化共生プロモーターの任用**
→多文化共生プロモーターとして地域おこし協力隊を任用し、地域コミュニティの活性化、多文化共生の推進、外国籍住民への生活支援に関する活動を行っています。
- 国および県への要望を実施**
→茨城県市長会および町村会により昨年度設置された「外国人との共生に関する特別委員会」を通じて、課題解決の支援に関する要望書を国および県に提出しました。